

(様式1)

教 育 研 究 業 績 書

2025年5月1日

氏 名 坂田 徳生

研 究 分 野

学 位

小児看護学

医療福祉修士 国際医療福祉大学大学院

研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド

プレパレーション、処置後の遊び

教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項

事 項

年 月 日

概 要

1. 教育方法の実践

2015年4月～2019年3月

松蔭大学では、助教として、初年度のリメ
ディアル授業「死生観」のグループのサポ
ート、小児看護学において、小児看護学発達
援助論の講義および演習の一部、小児看護学実
習、基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ、統合実習（小児
看護）を担当。コミュニケーション文化楽部
保育士養成課程 で、子どもの病気と事故に
関する演習授業を担当。

2019年4月～2020年8月

神奈川工科大学では、助教として小児看護学
活動論Ⅱでの講義および演習の一部、小児看
護学実習、基礎看護学実習Ⅰ、統合実習（小
児看護）、看護研究Ⅱを担当。

2022年4月～2023年8月

群馬医療福祉大学の講師として、小児看護学
概論、小児看護援助論Ⅰ・Ⅱ、看護研究を担
当。

2023年4月～2024年3月

西武文理大学講師として、小児看護学援助論の
一部、小児看護学実習、療養実習、総合実習
（小児看護）、基礎ゼミナール、看護とホス
ピタリティⅠ 隣地学習、卒業研究を担当。

2024年4月～

西武文理大学講師として継続、新カリキュラ
ムに伴った小児看護支援論Ⅰ・Ⅱの一部、小
児看護学実習、総合実習（小児看護学）、基
礎ゼミナール、看護とホスピタリティⅠの
一部および隣地学習、看護総合演習の一部、卒
業研究を担当。また共通科目の災害と地域づ
くりの一部を担当した。

2. 作成した教科書、教材

1) 演習ノートを作成

2017年9月～2018年2月

松蔭大学での小児看護発達援助論の授業にお
いて、援助が実習で活用できるよう、学生が
記入する様式の演習ノートを作成した。

2) 事例・学内実習用実習記録用紙の作成

2022年4月～2023年8月

群馬医療福祉大学で新型コロナウイルス蔓延
防止期間において学内演習のため、気管支喘
息の事例を作成、幼稚園実習の実習記録用紙
を作成した。

3. 教育上の能力に関する大学等の評価

2022年4月～2023年8月

群馬医療福祉大学FD・SD委員会による授業評
価アンケートでは、すべての項目で3.5以上で
あり、概ねよい評価であった。

2023年4月～

西武文理大学において単独で担当した基礎ゼ
ミナールと卒業研究での授業評価アンケート
では、平均が4.0以上であり概ねよい評価で
あった。

4. 実務の経験を有する者についての特記事項

特記なし

5. その他

特記なし

職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項		
事 項	年 月 日	概 要
1. 資格、免許 等 看護師免許	1999年3月	
2. 所属学会 日本看護協会・神奈川県看護協会再入会（現在に至る） 日本小児看護学会入会（現在に至る） 日本小児保健協会（現在に至る）	2013 年 4月 2013 年 8月 2016 年 8月	
3. 実務の経験を有する者についての特記事項		特記なし
4. その他		特記なし

（様式2）

研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書) 該当なし				
(学術論文) 1. カンボジアにおける小児期WHO推奨ワクチンに関する意識調査(修士論文)	単著	2013年3月	国際医療福祉大学 大学院	途上国での小児用ワクチンの普及と接種率向上を究極の目的とし、カンボジアで小児医療に関わる5歳未満の子どもを持つ職員と一般の保護者へ小児期WHO推奨ワクチンの認知度や必要性について意識調査を行った。その結果から、途上国への国際医療協力におけるワクチンの普及および接種率を向上させる方法を検討した。
2. カンボジアにおける小児期WHO推奨ワクチンに関する意識調査：5歳未満の子どもを持つ親を対象とした現地調査（査読付き）	単著	2015年7月	日本小児看護学会誌	修士論文を査読付きの学会誌に投稿した。
3. 松蔭大学看護学部の新設看護学部の実践報告-1期生への取り組み-（査読付き）	共著	2016年3月	松蔭大学看護学部紀要	松蔭大学看護学部で2015年度入学した学生73名を対象に行った初年次教育のコンセプトと実践内容を提示し、入学前教育とスタディスキル教育の結果を報告した。
4. 新設看護学部における課程外での初年次教育の成果：学生への調査から（査読付き）	共著	2016年12月	日本看護学会論文集、看護教育	新設看護学部で、課程外教育で行われたスタディスキル教育の成果において、学生が学んでいると教員が感じた内容について、学生も学んだと感じていたこと、学生は医学・看護以外の教員から、看護に役立つことを学べていたことを明らかにした。
5. 小児看護学実習における看護の学びの実態-本学第一期学生の実習後のレポート分析から-（査読付き）	共著	2019年3月	松蔭大学看護学部紀要	松蔭大学看護学部第1期生の小児看護学関連科目の履修を終えた現在、学生から提出されたレポートから、小児看護学教育の目的・目標は達成されているかを検討することで、小児看護学教育におけるモデルコア・カリキュラム構築の一助とした。
(学会発表、講演など) 1. 医療処置を受ける幼児の対処行動を高める感性的言語の研究（学会発表）	共同	2013年8月	第8回 ICN INP	医療現場における幼児への説明を容易にするため、幼児が理解できる感性的言語の説明モデルの開発を目的とし、どのような言葉で小児に関わっているか、小児医療に携わっている医師、看護師を対象に調査した。

2. 臨地実習における看護診断過程の指導に対する困難感(ポスター発表)	共同	2015年7月	第21回日本看護診断学会学術大会	学	実習施設臨地実習指導者、専任教員が協働した学習会「ゴードンの機能的健康パターンを使用した看護過程事例演習」を企画し、学習会終了後の調査から看護診断過程の指導における困難感について明らかにした。
3. 国内の小児病棟におけるプレパレーションに関する研究の動向 (ポスター発表・採択済)	共同	2025年9月	第56回日本看護学会学術集会	学	国内の小児病棟におけるプレパレーションに関する研究の動向および課題を明らかにし、考察した。
(その他)					